

2023年3月期 通期 決算説明

株式会社ピーバンドットコム
(東証プライム・証券コード：3559)

2023年5月12日開示

1. 2023年3月期 通期決算概要
2. 業績予想と事業戦略（経営体制の変更）
3. スタンダード市場への移行について
4. 株主還元について

2023年3月期 通期決算概要

(数字は前期比)

■ 実装サービス利用増と基板製造の単価増で、年度売上は4.3%増加

- ・ 4Q単体売上高は前年同期比**5.9%増**、サービス需要が復調に向かい**部品実装の利用増**
- ・ 年度売上高は主力の**基板製造サービスの単価増もあり、4.3%の増加**
- ・ 販管費は4.9%増はトップライン成長のための人材投資
- ・ 繰延税金資産取り崩しにより、▲32百万円の利益調整額を計上

■ 市場環境は改善へ、2023年度中の部品供給正常化に期待

- ・ 2022年の産業電子機器生産額は前期比96.0%
- ・ しかし、電子部品は供給安定の兆候あり、**産業機器生産は改善基調へ**

2023年3月期 通期業績結果（累計）

売上高
2,015百万円
 (前年同期比+4.3%)

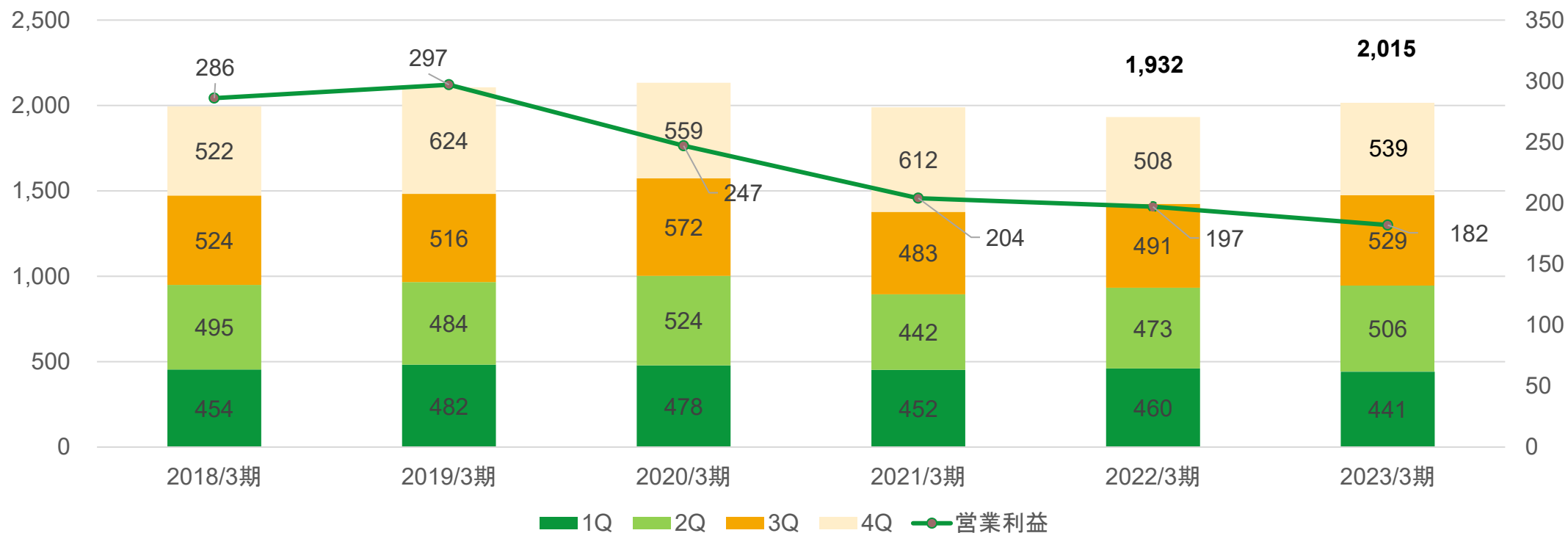
売上総利益
668百万円
 (前年同期比+1.2%)

営業利益
182百万円
 (前年同期比△7.5%)

当期純利益
92百万円
 (前年同期比△32.4%)

(単位：百万円)

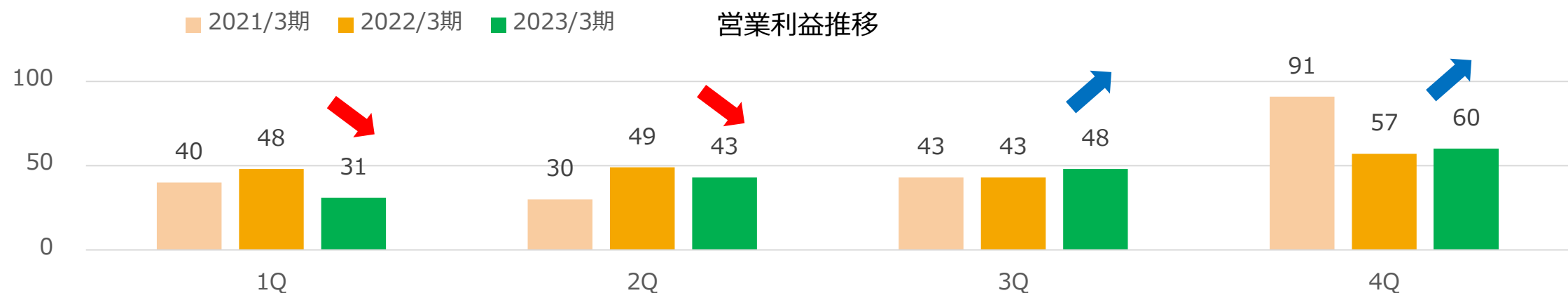
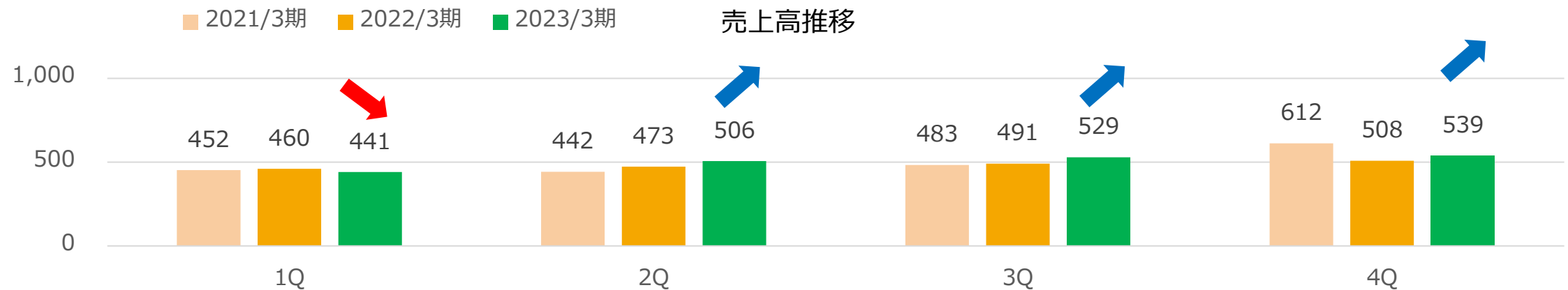
売上高 / 営業利益推移



2023年3月期 通期業績結果（四半期推移）

厳しい環境が続いたが、**売上高は1Qを除き前期比増で推移**
人材への先行投資に伴い営業利益は前期比微減も、下半期は増益

(単位：百万円)

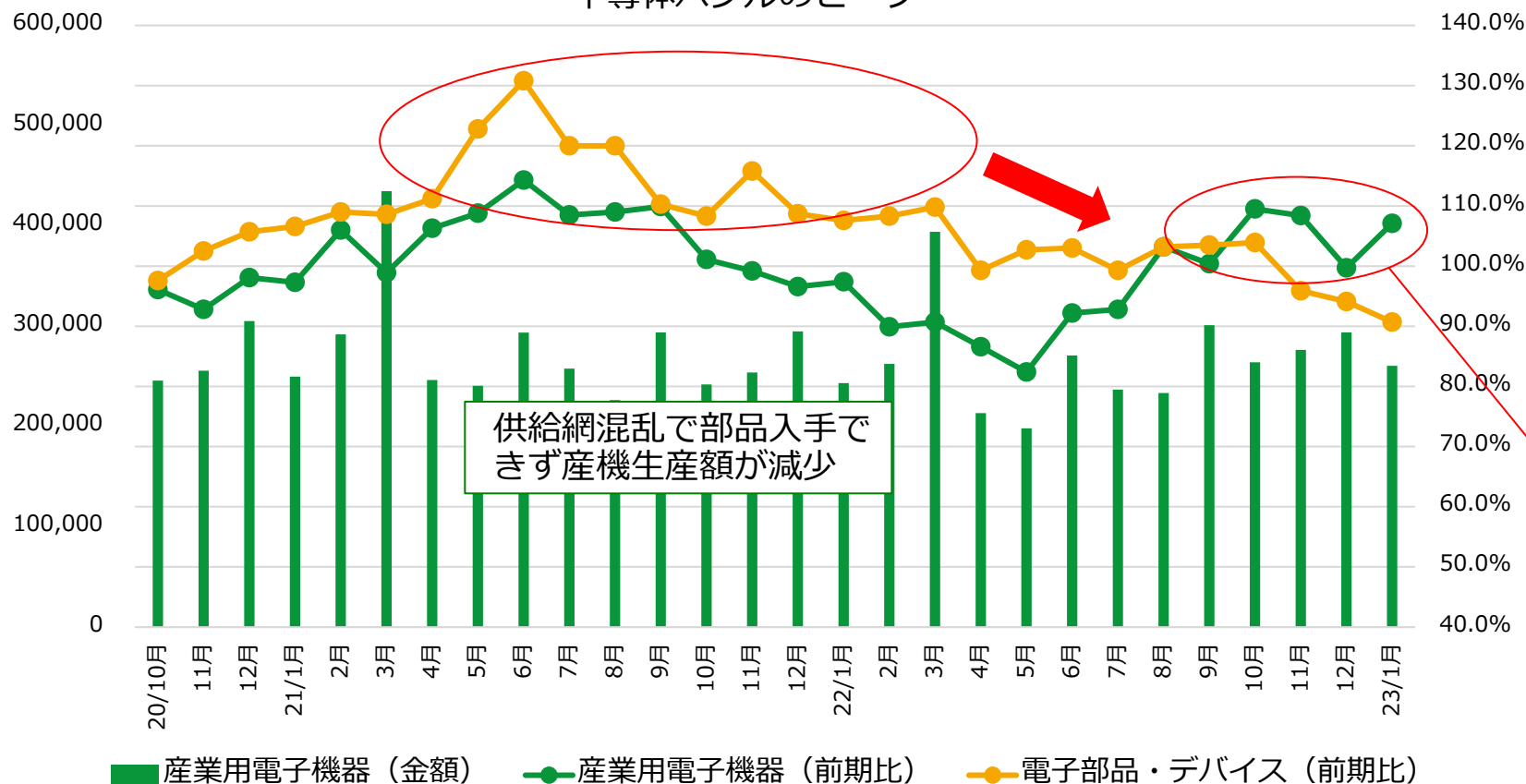


市場環境（産業電子生産実績）

産業電子機器生産は電子部品の供給網混乱の影響を受け下降傾向が続いていたが、**直近は改善傾向**。22年の産業機器生産額は**前期比96.0%**の中、**当社売上は104.3%**と成長

(単位：百万円)

半導体バブルのピーク



供給網混乱で部品入手できず産機生産額が減少

電子部品の供給は、PC向けは巣籠もり需要が一巡し落ち着いてきた一方、産業機器・車載向けの需要は逼迫が継続。

2022年下半期は産業用機器の生産が改善に転じる

国内産業電子機器実績 (出展：JEITA 2023年1月発表)

2023年3月期 通期 損益計算書

売上高（+4.3%）、繰延税金資産の取り崩しにより当期純利益は（△32.4%）

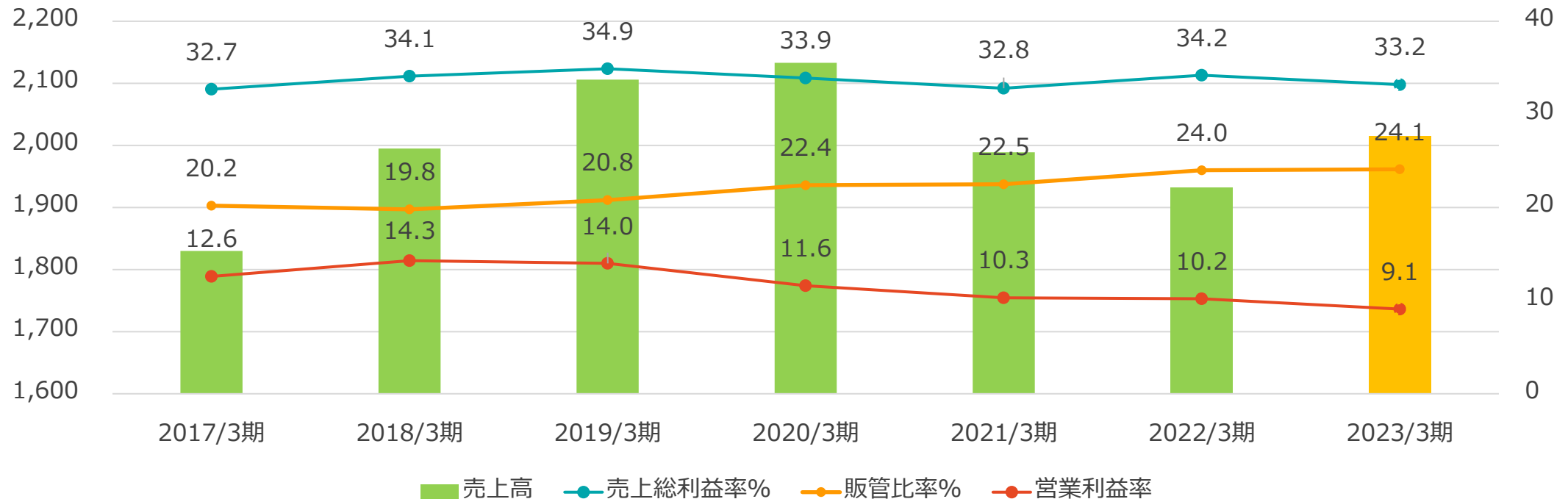
(単位：百万円)	前年同期 実績	構成 %	2023/3期 実績	構成 %	前年同期比 %	2023/3期 期初予想
売上高	1,932	-	2,015	-	+4.3%	2,131
売上総利益	660	34.2%	668	33.2%	+1.2%	730
販売管理費	462	23.9%	485	24.1%	+4.9%	528
営業利益	197	10.2%	182	9.1%	△7.5%	202
当期純利益	137	7.1%	92	4.6%	△32.4%	142

各利益率の推移

事業拡大に向けた人材投資や経済活動再開に伴う販促活動増加により、営業利益率は一時的に減少するが、10%をターゲットに改善していく計画

(単位：百万円)

売上高 (棒グラフ) & 各利益率推移 %



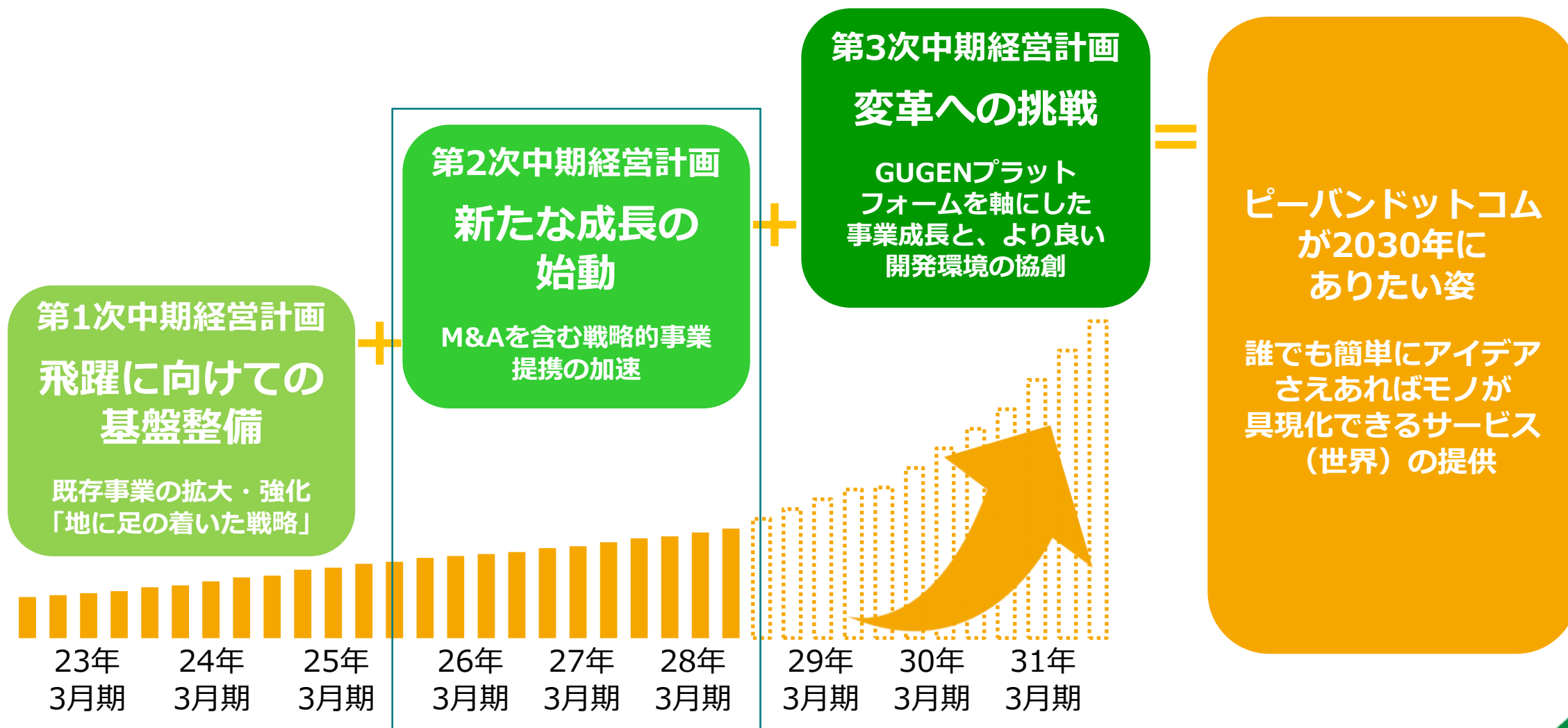
2023年3月期 貸借対照表

- 無借金経営、事業拡大時に必要な資金調達余力が多分にある
- 自己資本比率80.7%

単位：百万円	資産	2022年3月期	2023年3月末	負債・資本	2022年3月期	2023年3月末
	流動資産	1,420	1,326	流動負債	293	279
	現預金	1,153	1,051	買掛金	200	190
	売上債権	244	276	未払法人税等	32	26
	商品	15	20	固定負債	13	15
	固定資産	187	167	資本金	178	178
	有形固定資産	11	11	利益剰余金	1,057	1,106
	無形固定資産	55	53	自己株式	△79	△198
	投資その他の資産	120	102	純資産合計	1,300	1,231
総資産		1,608	1,526	負債・純資産合計	1,608	1,526

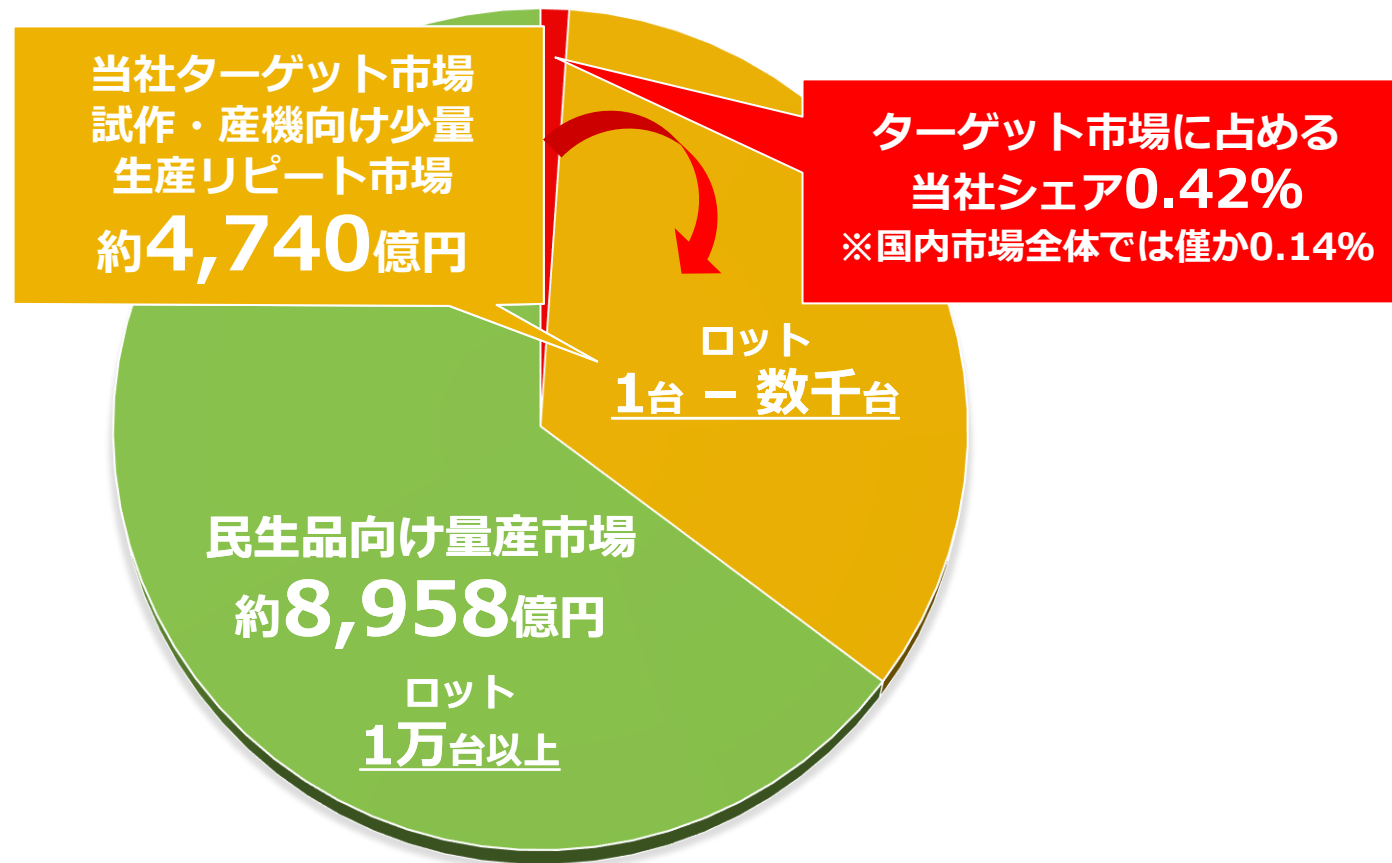
業績予想と事業戦略（経営体制の変更）

「2030年にありたい姿」実現に向けた長期ビジョンに基づく中期経営計画（第1次～第3次）の基本方針

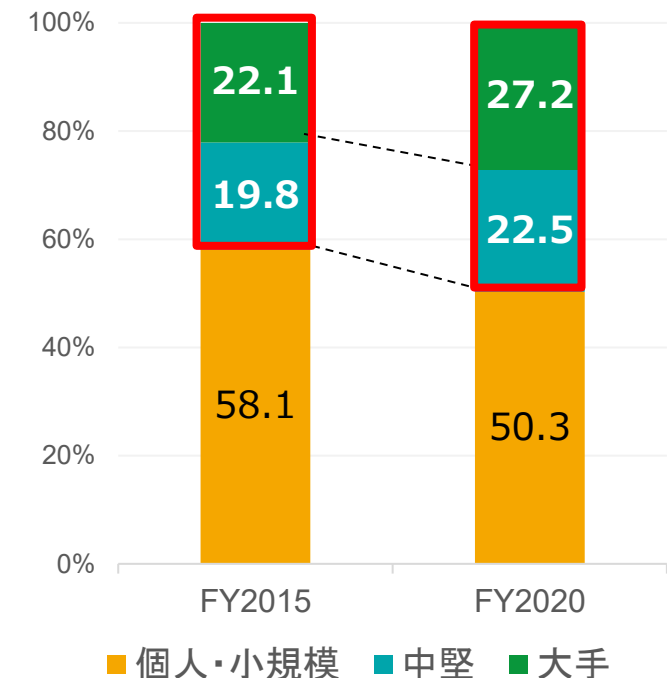


国内プリント基板市場の市場規模 (TAM)

ターゲット市場 (試作・産機向け) に占める当社シェアは0.42%
 まだ多くの受注拡大余地がある



競争力ある「試作基板分野」から
 中堅・大手企業の取込みを推進
 ⇒当社の顧客規模別売上構成は
 大手・中堅企業が約5割まで拡大
「中小企業向け試作」からの転換期



電子回路基板、電子回路実装基板の国内市場規模

第1次中期経営計画（23/3期～25/3期）のコンセプト「飛躍に向けての基盤構築」

基本方針

既存事業の拡大・強化を主体とする「地に足の着いた」事業戦略

事業展開の戦略

- ①プリント基板事業の拡大
一番使いやすい**P板.com**をテーマに、web注文手続きの刷新
webシステムの「**仕組み**」×「**人**」による顧客に寄り添ったサポートで
クライアントのニーズを深掘り
- ②EMS事業のテイクオフ
特殊技術を保有する**スタートアップ**との連携
エンジニアリングネットワークを強化し、「**安定的な量産体制**」構築
- ③「第3の事業の柱」の探索と種まき
既存事業と**シナジーある新規事業の発掘**・拡大

「仕組み（知的資本）×人間（人的資本）」のハイブリッド化により
大手・中堅市場シェア拡大を図る

「知的資本」の強化

①ユーザビリティの向上

「一番使いやすいP板.comへ」をテーマに、WEBサイトのUI/UXリニューアルを遂行
2022年12月に顧客側画面の一部リニューアルをリリース

②BtoB取引のDX支援機能

WEB注文手続きとEDIの連携や、環境対応書類、検査証明書などのWEB発行対応で、
大手・中堅企業の要求に応える

「人的資本」の強化

①クライアント対応に人材をシフト

人によるきめ細やかなサポートで、顧客ニーズに合わせてサービスの水平展開を図る

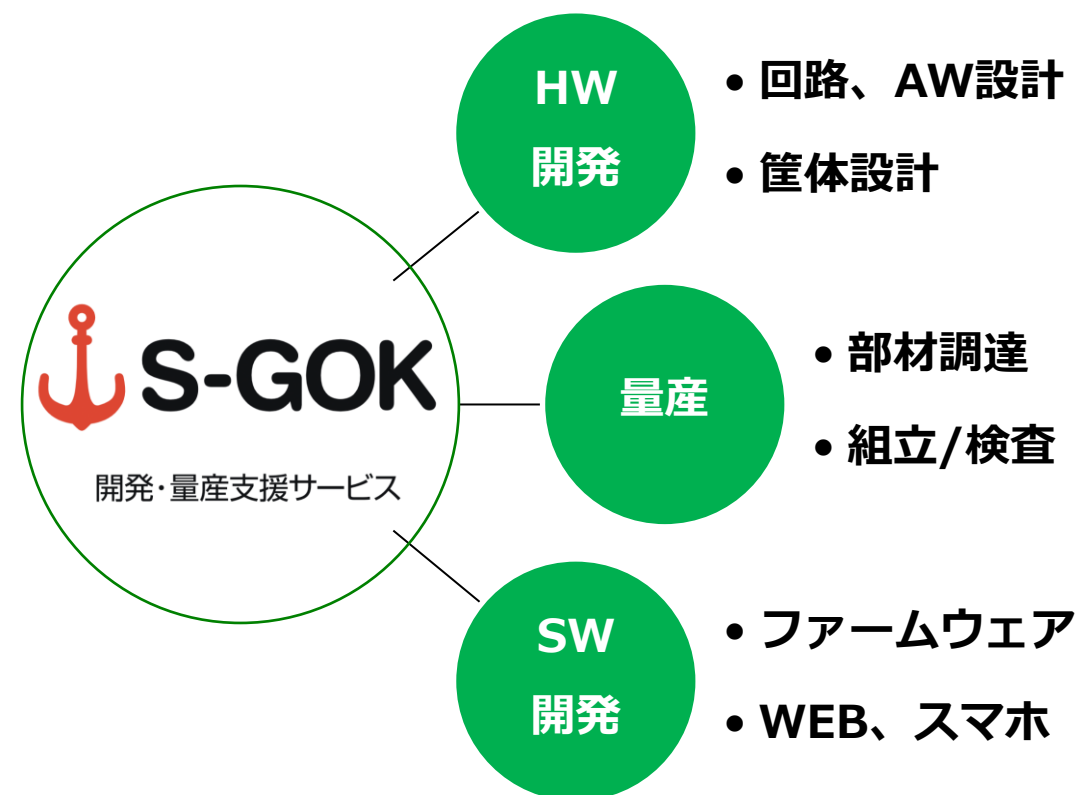
P板.com事業内のサービスの一つとして展開していた「P板.com EMS」を、
部品調達環境の改善を見込む2023年中に「開発・量産支援サービス」としてリブランド

市場環境が不透明な中、顧客接点の強化に努め、「P板.com EMS」の受注拡大に必要なことは、

- ・ **より上流から**
 - ・ **より広範囲のサービス**
- であることを再認識

2023年上半期に「P板.com」とは
別ブランドでWebサイトをリリースし、
サービスを本格始動

開発・量産支援サービス「S-GOK」



③ 「第3の事業の柱」の探索と種まき

新しい事業創出活動に注力するため、代表交代を含む経営体制の変更を実施
「両利きの経営」で既存・新規事業分野の両立を行う

株式会社
ピーバンドットコム

※2023年6月27日に異動予定

既存事業分野の拡大

新規事業分野の探索



代表取締役社長※
後藤 康進

2011年より事業統括として従事、
代表として**施策実行を加速**させる

尸板.COM
ピーバンドットコム

プリント基板Eコマース

S-GOK

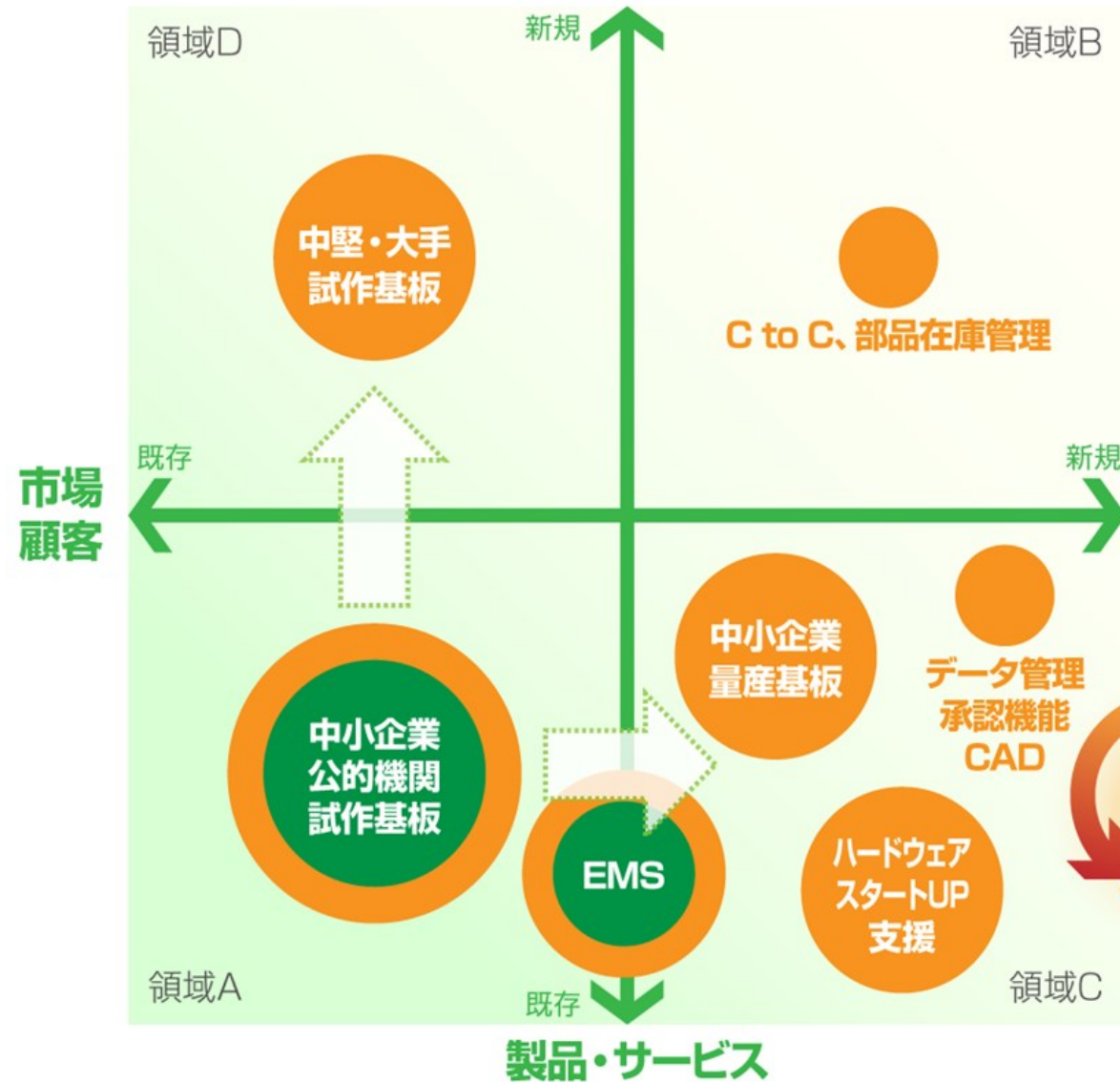
開発・量産支援サービス



取締役会長※
田坂 正樹

事業創出のパイオニアとして培ってきた実績と、
社外ネットワークを活用し、事業規模拡大に最も重
要な**新規の事業分野の探索、立ち上げ**に注力

第1次中期経営計画の事業展開図



- 22年3月期の売上高
- 25年3月期の想定売上高
- ⇨ 事業展開の方向性

新規市場参入では
戦略的パートナーとの協働も検討



中堅・大手顧客の開拓による受注拡大を中心に、売上高成長率を10%に乗せる。
 将来に計画していた**人材投資の前倒し**を行い、**トップライン成長を第一優先**とする。

(単位：百万円)	2023/3期 実績	構成 %	2024/3期 予想	構成 %	前年同期比 %
売上高	2,015	-	2,221	-	10.2%
売上総利益	668	33.2%	727	32.8%	8.9%
販売管理費	485	24.1%	582	26.2%	20.0%
営業利益	182	9.1%	145	6.5%	▲20.7%
当期純利益	92	4.6%	100	4.5%	8.2%

第1次中期経営計画の計画数値

	第1次中期経営計画	
	24年3月期 (当期計画)	25年3月期 (来期計画)
売上高 (億円)	22.2	24.4
営業利益 (億円)	1.4	2.0
純利益 (億円)	1.0	1.4

24年3月期の先行投資により、第1次中期経営計画の修正を2023年5月12日に開示。

主要KPI

売上高成長率 (%)	<u>年率+10%</u>
営業利益率 (%)	10%以上
ROE (%)	12.5%以上

計画変更により営業利益率は目標に達しないが、主要KPIとして掲載。

スタンダード市場への移行について

スタンダード市場移行の理由

当社は、流通株式時価総額にかかる上場維持基準について、2028年3月期のプライム市場への適合に向け鋭意取組んでまいりました。

しかし、上場維持基準に関する経過措置の終了時期が2025年3月期に決定したことを受け、**当社が目標とする適合計画期間と大きく乖離**することが明らかとなったことから、既存の株主様が安心して当社の株式を保有・売買いただける環境を確保し、**ステークホルダーの皆様**の信頼を維持することが適切であると判断いたしました。

また、直近の業績動向と上場維持基準への適合状況、適合への取組を総合的に評価した結果、**限られた経営資源を将来の事業拡大に向けた成長投資に集中**させることが、根源的な企業価値の向上に資すると判断し、2023年5月12日に「スタンダード市場」への上場を選択申請する旨を決議いたしました。
市場区分の変更日は、2023年10月20日を予定しております。

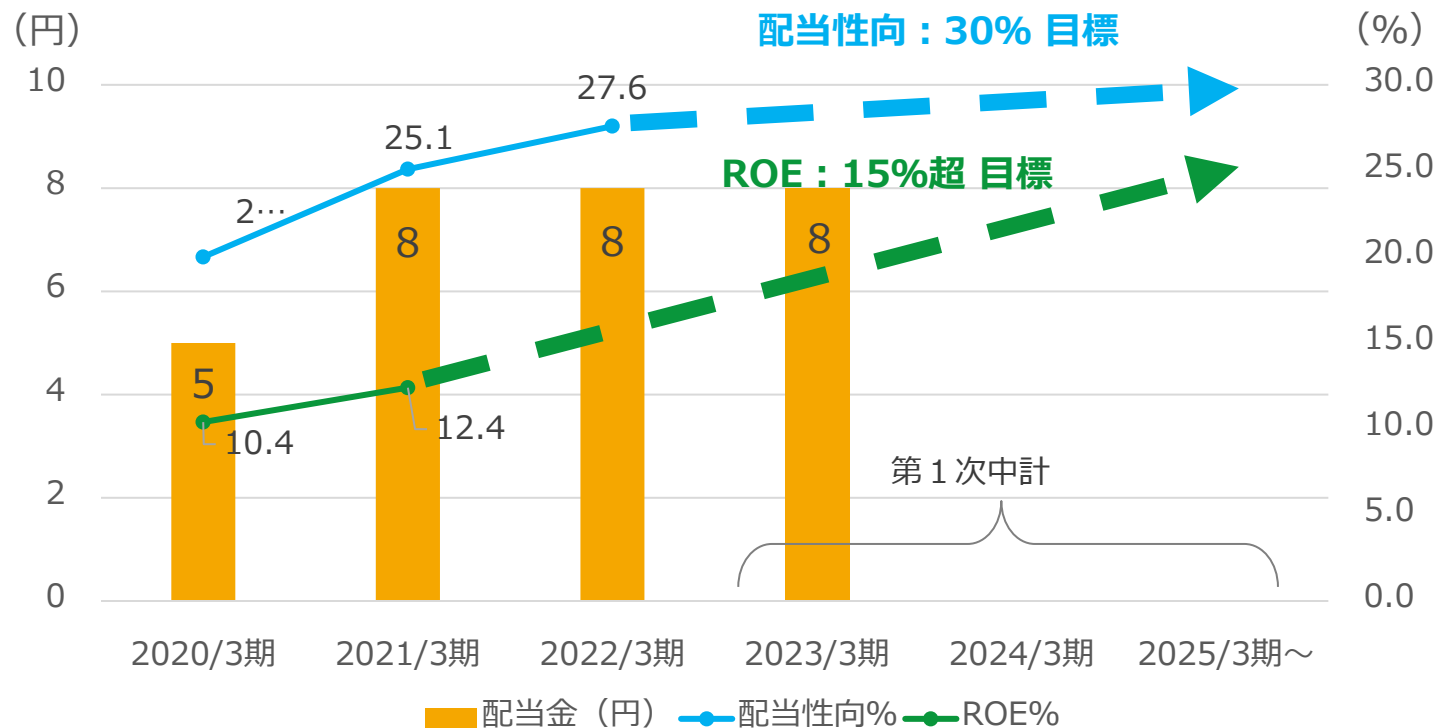
なお、スタンダード市場への移行後においても、中期経営計画を推し進め、事業規模の拡大を目指していく方針であります。

株主還元について

株主還元：配当方針

2023年3月期配当予想は「1株あたり8円」。
繰延税金資産取り崩しによる利益調整が影響し配当性向は40.98。
第2次中期経営計画期間中の配当性向目標30%は、利益成長した上での達成を目指す。

過去3期分の配当実績



予想配当金	1株あたり8円
配当性向	40.98

投資家の皆様とのコミュニケーションを円滑に行う 「IR情報メール配信サービス」

メールアドレスをこちらから登録するだけで、
最新IRニュースがタイムリーに配信されます

携帯・スマホはこちらから

「開発環境をイノベーションする IR情報メール配信中」
<https://www.p-ban.com/ir/alert.html>

